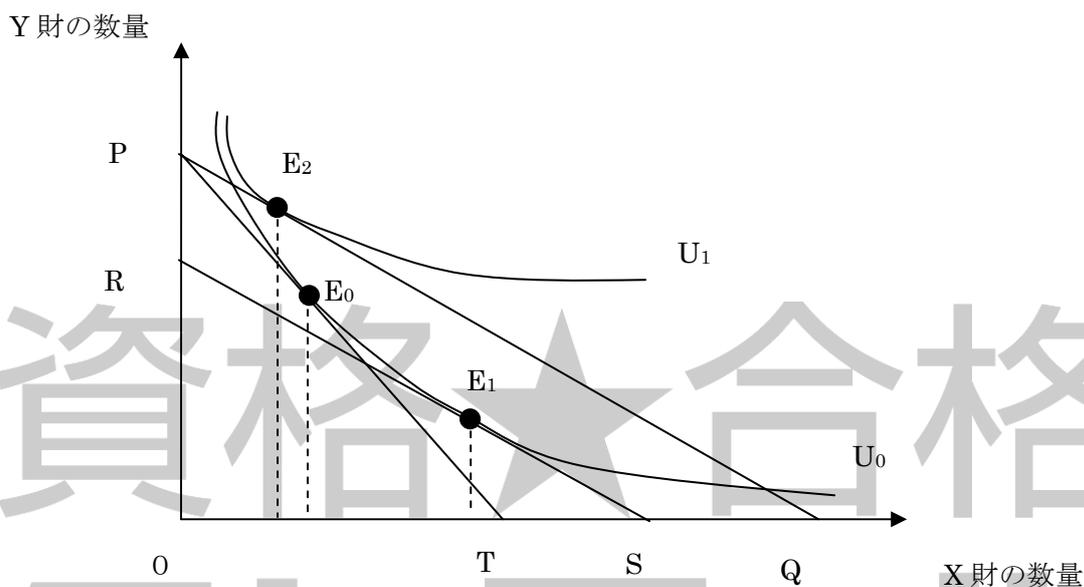


# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

【No.21】次の図はX財とY財との無差別曲線を $U_0$ 及び $U_1$ 、予算線PTの消費者均衡点を $E_0$ 、予算線RSの消費者均衡点を $E_1$ 、予算線RSと平行に描かれている予算線PQの消費者均衡点を $E_2$ で示したものである。今、X財の価格の下落により、予算線PTが予算線PQに変化し、消費者均衡点が $E_0$ から $E_2$ へと移動した場合の需要変化に関する記述として、妥当なのはどれか。



- 1 X財は、上級財であり、X財の価格下落による正の所得効果及び正の代替効果により、全体としての効果はプラスとなる。
- 2 X財は、上級財であり、X財の価格下落による正の代替効果が負の所得効果を上回るため、全体としての効果はマイナスとなる。
- 3 X財は、下級財であり、X財の価格下落による正の代替効果が負の所得効果を上回るため、全体としての効果はプラスとなる。
- 4 X財は、ギッフェン財であり、X財の価格下落による負の所得効果が正の代替効果を上回るため、全体としての効果はマイナスとなる。
- 5 X財は、ギッフェン財であり、X財の価格下落による負の所得効果が正の代替効果を下回るため、全体としての効果はプラスとなる。

正答 4

- 1 誤り。所得効果は $E_1$ から $E_2$ への変化で表されますが、X財の数量は減っているためX財

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

は下級財であることが分かります。

- 2 誤り。理由は1と同じ。
- 3 誤り。X財の需要量はE<sub>0</sub>からE<sub>2</sub>への動きを見れば分かるように減っています。つまり全体としての効果はマイナスです。
- 4 正しいです。ここまでの解説から分かるように、この財は需要が減少しており全体としての効果はマイナスです。この図でこうしたケースはギッフェン財となります。ギッフェン財は代替効果のプラス分よりも、下級財であることによる所得効果のマイナス分が大きく、結果的に需要が減少するのです。
- 5 誤り。全体としての効果はマイナスです。4の解説を参照。

## ☆公務員プライベート相談会実施中(無料)

公務員の仕事、試験、学習に関する個別相談会です。公務員になりたいけど、どんな仕事をするのか分からない、どんな職種が自分にあっているのか分からない、勉強が苦手だけど……、など様々な疑問、不安にクレール合格アドバイザーがお答えします。

クレール HP からご予約の上ご来校ください。

<http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/>

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

【No.22】縦軸に費用，横軸に生産量をとったグラフ上に描かれた短期費用曲線に関する A～D の記述のうち，妥当なものを選んだ組合せはどれか。ただし，限界費用曲線は U 字型とする。

- A 限界費用曲線は，平均費用曲線の最低点及び，平均可変費用曲線の最低点を通過する。
- B 限界費用曲線の最低点は，平均費用曲線の最低点及び，平均可変費用曲線の最低点より上方にある。
- C 限界費用曲線の最低点における生産量は，平均可変費用曲線の最低点における生産量よりも小さい。
- D 平均費用曲線の最低点における生産量は，平均可変費用曲線の最低点における生産量よりも小さい。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

正答 2

短期費用のグラフを描くと次のようになります。

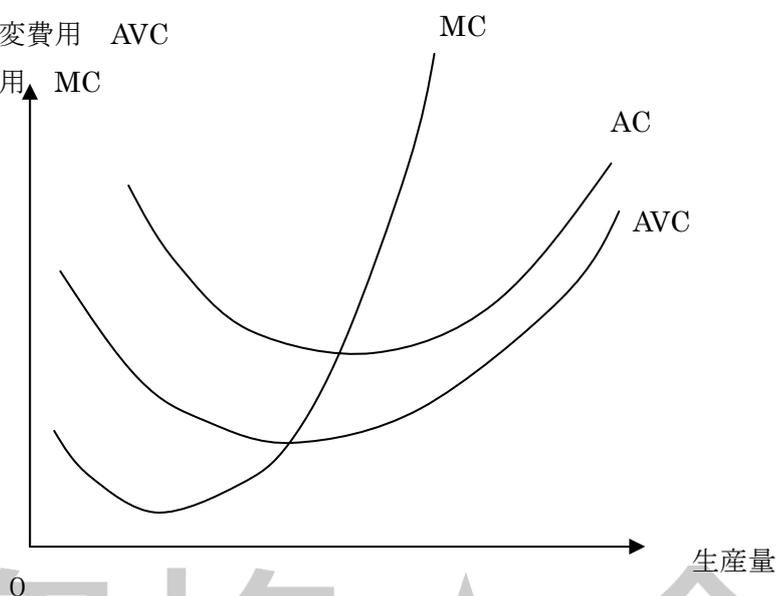
# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

平均費用 AC

平均可変費用 AVC

限界費用 MC



- A 正しいです。また AC の最下点を損益分岐点, AVC の最下点を操業停止点と呼びました。
- B 誤り。図を見て分かるように MC の最低点は, 平均費用曲線の最低点や, 平均可変費用曲線の最低点よりも下方にありますね。
- C 正しいです。図を見たとおりです。
- D 誤り。平均費用の最低点は平均可変費用よりも右方にあるので, 生産量は大きくなります。

## ☆社会人のための公務員転職セミナー(無料)

民間企業にお勤めで、公務員に転職を考えられていらっしゃる社会人の方向け、個別相談会です。学習経験が無くても大丈夫、公務員相談室、転職サポートアドバイザーがとことん相談に乗ります。

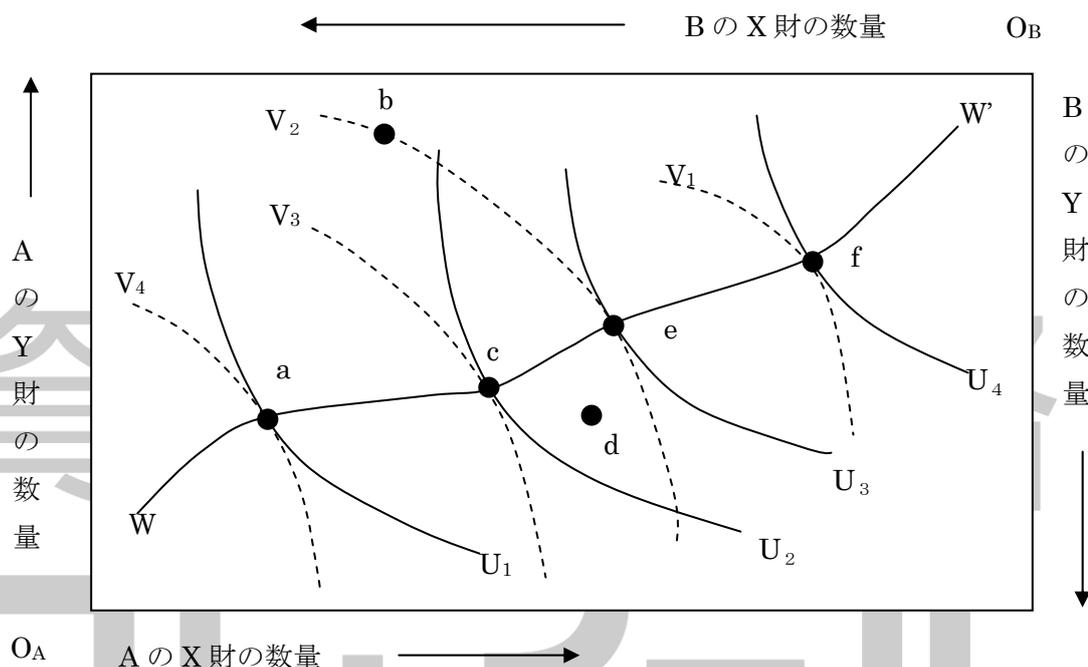
クレール HP からご予約の上ご来校ください。

<http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/>

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

【No.23】 次の図は、2人の消費者A、BとX財、Y財の2つの財からなる交換経済のエッジワースのボックス・ダイアグラムである。図において、横軸と縦軸の長さは、それぞれX財とY財の全体量を表す。図中の $U_1, U_2, U_3, U_4$ は消費者Aの無差別曲線を表し、 $V_1, V_2, V_3, V_4$ は消費者Bの無差別曲線を表し、曲線 $WW'$ は契約曲線を表している。この図の説明として妥当なのはどれか。



- 1 曲線  $WW'$  上では、A、B のそれぞれの資源配分が効率的であるとともに、常に公平な配分が実現される。
- 2 a 点から e 点への移行は、パレート改善である。
- 3 f 点では、B 点の限界代替率は、A の限界代替率よりも小さく、X 財、Y 財をより多く B に配分すれば社会厚生は増加する。
- 4 b 点から、d 点への移行はパレート改善である。
- 5 a 点、c 点、f 点は、いずれもパレート最適な状態であるが、これらの点のうち A、B ともに効用が最も高いのは、c 点である。

正答 4

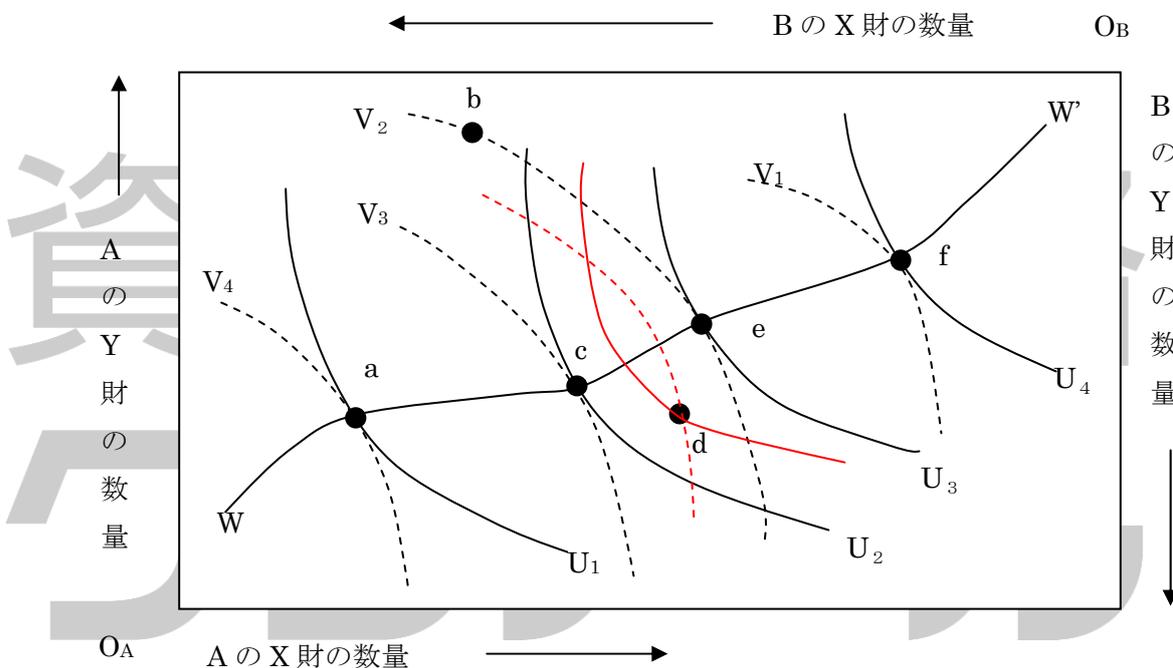
- 1 誤り。パレート最適は資源配分の効率性のみを問題にしており、公平かどうかは全く関

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

係がありません。

- 2 誤り。a 点は契約曲線上にあるので、既にパレート最適な状態であり、その状態を変化させれば必ず誰かの効用が下がります。パレート改善は誰の効用も下げることなく、誰かの効用を上げるときに実現することなので誤りです。
- 3 誤り。f 点は契約曲線上にあることから分かるようにパレート最適です。ここでは消費者 A と B の無差別曲線は接しており、その傾きである限界代替率は等しくなります。
- 4 正しい。d 点を通る無差別曲線が書いてないので分かりにくいですが書くと次のようになり、A、B とも効用が上がっているのが分かります。



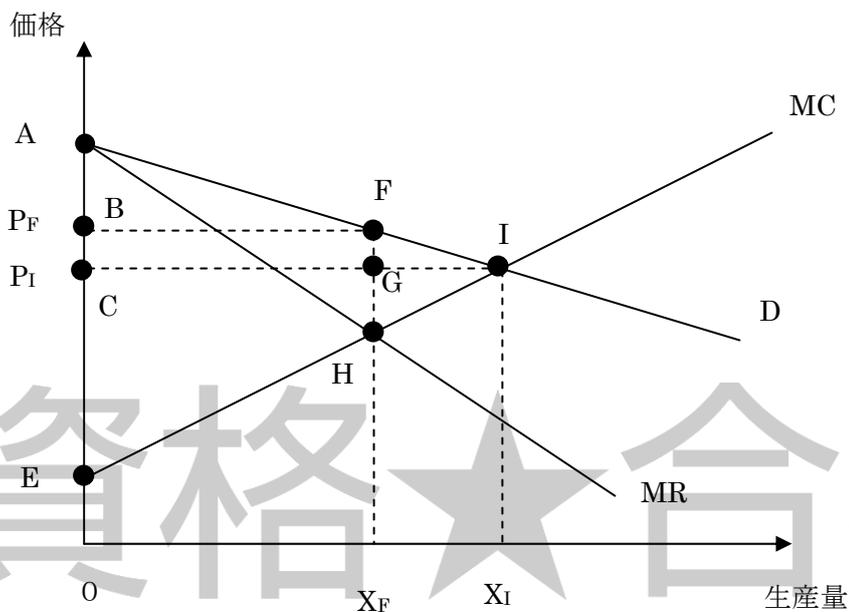
このように、b から d へ移動すれば両者とも効用が上昇するのでパレート改善です。

- 5 誤り。点  $a, c, f$  は確かにパレート最適です。しかし、a 点から c 点に行けば消費者 B の効用が下がりますし、f 点まで行けばさらに下がります。A が最も効用が高いのは点 C であり、B が最も高いのは点 a です。

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

【No.24】次の図は、縦軸にある財の価格を、横軸にその生産量を取り、需要曲線を  $D$ 、限界費用曲線を  $MC$ 、その交点を  $I$  で示したものである。今、この財の市場が、完全競争市場から、財が独占企業によって供給される独占市場となり、限界収入曲線が  $MR$  で表される場合のこの図の説明として、妥当なのはどれか。

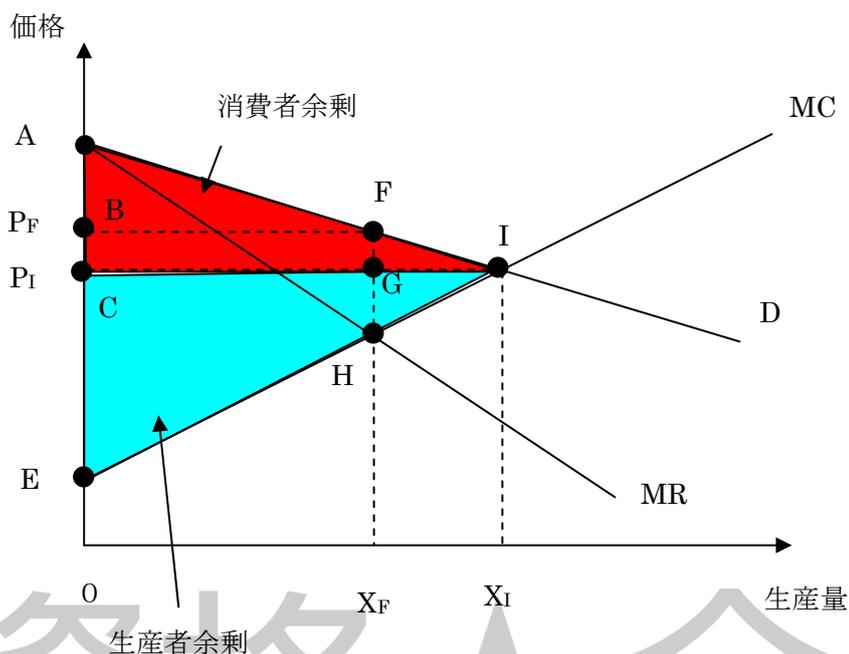


- 1 独占市場になると、生産量は $X_F$ から $X_I$ へと拡大し、価格は $P_F$ から $P_I$ へ下落する。
- 2 独占市場になると、厚生損失を表す面積は、三角形  $FHI$  から三角形  $FGI$  となる。
- 3 独占市場になると、消費者余剰を表す面積は、三角形  $ABF$  から三角形  $ACI$  となる。
- 4 独占市場になると、生産者余剰を表す面積は、三角形  $CEI$  から四角形  $BEHF$  となる。
- 5 独占市場になると、社会的余剰を表す面積は、三角形  $AEI$  から四角形  $BEHF$  となる。

正答 4

# 資格★合格クレール

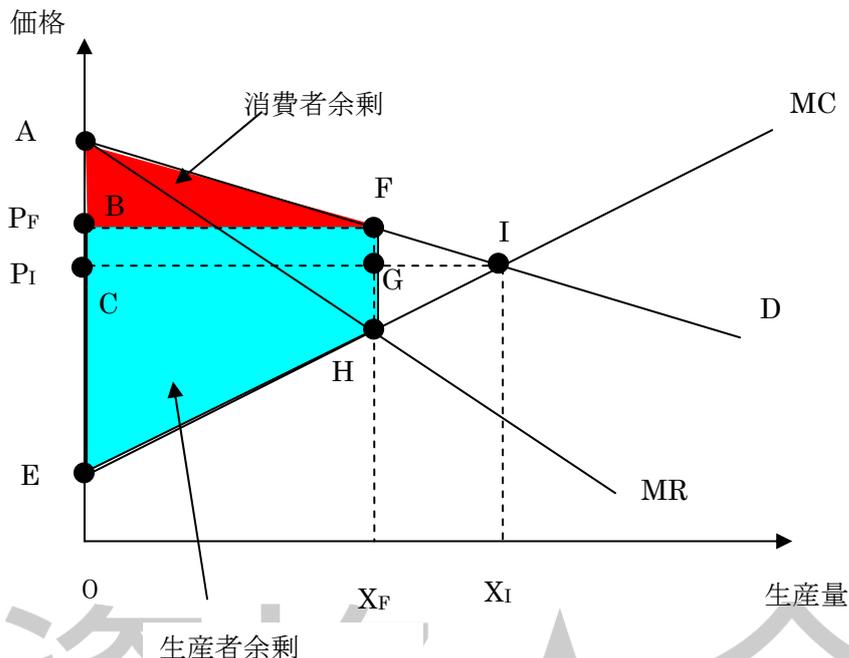
クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和



- 1 誤り。完全競争市場ではMC（供給曲線）とDの交点のIで均衡します。独占の場合は図のMR=MCとなるところです。したがって、独占市場になると生産量は $X_I$ から $X_F$ に減少します。価格は $P_I$ から $P_F$ へ上昇します
- 2 誤り。完全競争市場においては、均衡点は図のIとなり、このときの総余剰は需要曲線と供給曲線で囲まれた三角形になります。したがって、総余剰は三角形AIEです。独占状態になると、均衡点はFとなるので、価格は $P_F$ 、数量は $X_F$ となるので余剰は次のようになります。

# 資格★合格クレアール

クレアール 公務員講座 専任講師 島本 昌和



したがって、完全競争の時よりも余剰は三角形 FHI の分だけ減少します。これが厚生  
の損失です。ちなみに完全競争の場合は厚生  
の損失はありません。

- 3 誤り。完全競争の場合の総余剰は三角形 ACI で独占の場合の消費者余剰は三角形 ABF です。
- 4 正しい。上の 2 つの図を見比べて欲しい。
- 5 誤り。独占の場合の総余剰は四角形 AEHF となります。

## ☆e カウンセリング ～メールで質問&相談～

公務員の仕事、公務員試験、勉強法、クレアールの講座などについてクレアール公務員相談室、合格アドバイザーがメールで回答します。お気軽にご質問、ご相談ください。(無料)

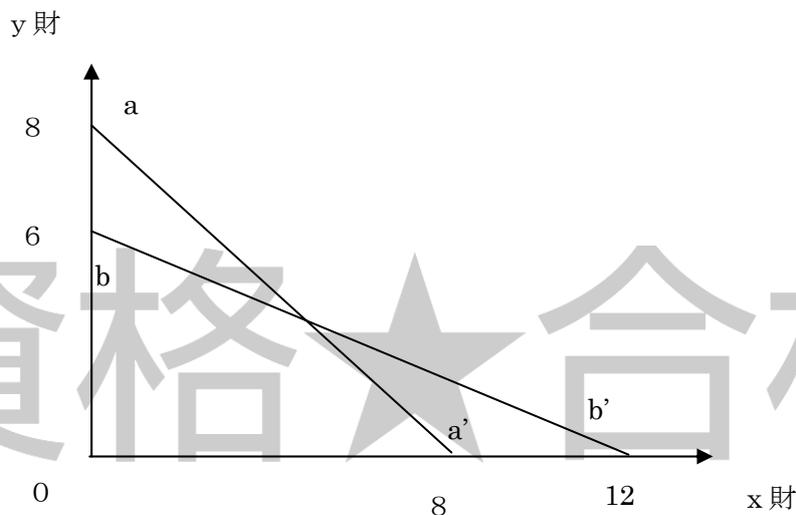
e カウンセリングのページから、送信ください。

<http://www.crear-ac.co.jp/koumuin/ecounseling/>

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

【No.25】 A国とB国の2国, x財とy財の2財からなるリカードの貿易モデルにおいて, 次の図のaa'線, bb'線は, それぞれA国, B国の2財の生産可能性フロンティアを表している。x財とy財の価格をそれぞれ,  $p_x$ ,  $p_y$ とすると, 2国間で貿易が行われるための2財の価格比  $\frac{p_x}{p_y}$  の範囲として, 妥当なのはどれか。



1  $\frac{1}{3} < \frac{p_x}{p_y} < \frac{1}{2}$

2  $\frac{1}{3} < \frac{p_x}{p_y} < 1$

3  $\frac{1}{2} < \frac{p_x}{p_y} < 1$

4  $\frac{1}{2} < \frac{p_x}{p_y} < \frac{3}{2}$

5  $\frac{2}{3} < \frac{p_x}{p_y} < \frac{4}{3}$

正答 3

# 資格★合格クレール

クレール 公務員講座 専任講師 島本 昌和

生産フロンティアの傾きが、国内価格比であるので、それを求めることになります。

両国間で貿易が行われるためには、国際的な価格比  $\frac{p_x}{p_y}$  が両国の価格比の間にあることが

大切です。それによって両国はそれぞれ別の財に比較優位を持ち貿易のメリットが生まれるわけです。

A 国の価格比は  $\frac{8}{8}=1$  です。一方、B 国の価格比は  $\frac{6}{12}=\frac{1}{2}$  です。よって、国際的な価格比  $\frac{p_x}{p_y}$  が

その間にあればよいので  $\frac{1}{2} < \frac{p_x}{p_y} < 1$  が答えとなります。

※リカードの比較生産費説では、ある財を 1 単位作るのに投入した労働者の数で価格が決まるとしています。したがって、x 財を 1 単位作るのに a 人の労働者が必要で、y 財については b 人の労働者が必要だとします。このとき、x 財と y 財の価格比は a : b になります。

このとき、この国の労働人口を L とすると生産フロンティアは

$ax + by = L$  となります。グラフに書くと  $y = -\frac{a}{b}x + \frac{L}{b}$  という式で表されます。

この生産フロンティアの傾きは  $\frac{b}{a}$  ですが、これはそれぞれを 1 単位作るのに必要な労働量の比率であり、それは価格比を意味するのです。